

2023年5月25日

課題名：バセドウ病における甲状腺重量変化の予測因子の検討

◆研究の目的と概要◆

バセドウ病の患者さんの多くでは甲状腺が腫大します。当院では甲状腺の重量を超音波検査所見により推定し、治療方針の判断材料のひとつとしています。甲状腺重量が増大すると、手術リスクが高くなり、放射性ヨウ素内用療法による寛解率も低下しますが、バセドウ病の治療後に甲状腺重量がどのように変化するかについては報告が少ない状況です。

そこで当院では、バセドウ病の患者さんにおける甲状腺重量の変化を予測する因子について調べています。甲状腺重量が増大する患者さんにどのような特徴があるか調べることで、バセドウ病のよりよい診療につなげることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2009年11月から2023年5月までの間に、当院でバセドウ病と診断され、甲状腺超音波検査を受けた方。

◆研究に使用される情報◆

性別、年齢、合併症、既往歴、現病歴、家族歴、内服薬、喫煙歴と、血液検査結果（TSH、F-T4、F-T3、TRAb）、甲状腺超音波検査所見を使用します。

◆研究方法◆

本研究は診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中もしくは既に学会で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
内分泌代謝・リウマチ内科 研究責任者 浜松 圭太
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明